

衛生研究を業務としているが、その診断水準は低く、診断機器の多くが老朽化していることも相まって、日常の診断にも支障を来している状態である。したがって、研究者の養成・確保を含め、家畜伝染病診断技術の改善が課題となっている。このため93年1月、ウルグアイ政府はわが国に対し、重要家畜疾病診断技術の移転、研究者の養成を目的とした、プロジェクト方式技術協力を要請してきた。

〈目標と期待される成果〉

家畜伝染病の防疫あるいは撲滅のための効果的なシステムの確立を上位目標とし、家畜伝染病の迅速かつ正確な検出のための獣医診断技術の改善をプロジェクト目標とする。協力の結果、供与された機材が有効に使用され、獣医診断技術の改善によって家畜伝染病の防疫のためのシステムが強化されることが期待される。

〈協力活動内容〉

- (1) 病理学、細菌学、ウイルス学：家畜伝染病に関する診断技術改善のための技術移転 (2) 実験動物部門：上記分野に関する診断のための実験小動物の生産技術の移転と生産体制の確立

● 鉱工業分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費 (千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
製材品試験用機材	一式	33,884	工業エネルギー鉱業省ウルグアイ技術研究所	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入

ヴェネズエラ

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
ODA	無償資金協力 (億円)	0.43	4.31	
	有償資金協力 (億円)	0	0	
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	5.72	59.93	
	形態別	研修員受入 (人)	54 (新規) + 2 (継続)	764
		専門家派遣 (人)	4 (新規) + 5 (継続)	196
		調査団派遣 (人)	38 (新規) + 5 (継続)	335
		協力隊派遣 (人)	0 (新規) + 0 (継続)	0
		機材供与 (100万円)	23	676
	単独機材供与 (100万円)	17.16	293.69	
	開発調査 (件)	1	13	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	1		

わが国の対ヴェネズエラODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力	0.47
技術協力	6.51
政府貸付等	-0.04

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ツイ川上・中流域環境改善計画	ヴェネズエラ政府の要請に基づき、カラカス首都圏への重要な飲料水供給源であるツイ川に関し、流域の水質汚濁源などを調査し、水質改善などにより飲料水を確保する。また、河川環境の改善を図るために上・中流域を対象として、緊急対策および中期計画の2段階からなるマスタープランを策定し、そのなかで選定された緊急対策（優先）プロジェクトについてフィージビリティ調査を実施する。1996年度は、マスタープランで選定された優先プロジェクトのフィージビリティ調査、および一部水源開発施設のプレ・フィージビリティ調査を行った。また、第3次現地調査の内容を進捗報告書(Ⅱ)に取りまとめたほか、投資計画・資金調達計画を策定した。	環境天然資源省 ツイ川流域管理事業団	㈱建設技術研究所 国際航業㈱

● 農林・水産分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費 (千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
魚類薫製技術研究用機材	一式	17,160	ヴェネズエラ中央大学食品研究所	一般単独機材	専門家派遣

開発協力事業

◎ 専門家派遣			
プロジェクト名	派 遣 期 間	人数	技 術 指 導 内 容
リンゴ栽培試験事業	96.7.27～96.8.11	1	リンゴ栽培技術
	97.2.18～97.3.27	1	リンゴ栽培技術

ヴェネズエラ◎中南米

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	22.27	107.21
	有償資金協力 (億円)	0	0
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	11.30	123.69
	研修員受入 (人)	108(新規) + 4(継続)	982
	専門家派遣 (人)	7(新規) + 4(継続)	216
	調査団派遣 (人)	34(新規) + 0(継続)	477
	協力隊派遣 (人)	11(新規) + 31(継続)	176
	機材供与 (100万円)	55	1,690
	単独機材供与 (100万円)	43.88	560.36
開発調査 (件)	3	9	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	2	

わが国の対フィジーODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 6.14 (30.3%)	技術協力 14.09 (69.7%)
---------------------------	--------------------------

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
北部ラウ諸島海域海図作成調査	北部ラウ諸島を対象に海図を作成するとともに、あわせてフィジーの海図整備計画を策定する。1996年度は、海図作成対象3区域のうち、第2図(海図番号：F53)の作成に必要な測量を行い、測量原図として取りまとめた。また、95年度に作成した第1図(海図番号：F52)の測量原図をもとに、編集、製図、印刷原版の作成作業および印刷を行い、結果を進捗報告書として取りまとめた。	フィジー海洋調査局	朝日航洋㈱ アジア航測㈱
河川流域管理および洪水制御計画	フィジー政府の要請に基づき、ヴィティ・レヴ島主要4河川に関する流域基本データの整備を行い、2015年を目標年次とする流域管理および洪水制御のマスタープランを策定するとともに、優先プロジェクトのフィージビリティ調査を実施する。1996年度は、同年2月に締結した実施細則に基づき、7月より本格調査を開始し、マスタープラン策定に関する進捗報告書(Ⅱ)を提出した。	農林水産省	八千代エンジニヤリング㈱

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
気象観測・予報設備整備 計画	気象局	(財)日本気象協 会	96	7.47	96.6.14		
<p>フィジー気象局は、各種気象情報を周辺地域に提供するなど、同地域の中核的役割を担っているが、気象台施設や観測・通信システムが十分に整備されていないため、気象情報通信処理解析用コンピューター設備、気象衛星画像受信装置をはじめとする気象観測・予報用機材を整備する。</p>							

● 農林・水産分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費 (千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
農業振興用機材	一式	4,163	教育婦人文化科学技術省	小規模単独機 材	協力隊派遣

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調 査 業 務 受注企業名
ヴァヌアレブ資源開発協 力基礎調査	ヴァヌアレブ島において、金、銀、銅、鉛、亜鉛を対象とした新鉱床の発見の探査を行う。1996年度は、ナコロウタリ地区でボーリング3孔、900m、ダグニンバ地区でボーリング3孔、900mを実施し、両地区とも3孔すべてで粘土・石英脈を捕捉した。金品位はMFV-1で1t当たり5.76g(幅5cm)、MFV-3で1t当たり5.06g(幅10cm)、MFV-5で1t当たり11.3g(幅2.2cm)であった。	土地鉱物資源 エネルギー省 鉱物資源局	日鉱探開(株)

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
南太平洋大学海洋研究施 設整備計画	農業水産業森 林省水産局	水産エンジニ アリング(株)	96	14.26	96.6.14		
<p>南太平洋大学の海洋研究施設は、人材育成面で重要な役割を果たしているが、現在の施設は老朽化し、また、手狭であるため海洋研究・教育・訓練活動に支障を来している。そこで、海洋研究センター、ワークショップなどの施設を建設し、海洋調査機器、実験用機材などを整備する。</p>							

● 保健医療分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
保健医療普及用機材	一式	39,717	保健省保健普及局	一般単独機材	専門家派遣

キリバス

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
わが国の ODA	無償資金協力 (億円)	6.56	82.91	
	有償資金協力 (億円)	0	0	
JICAの 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.98	29.03	
	形態別	研修員受入 (人)	19(新規)+0(継続)	170
		専門家派遣 (人)	0(新規)+1(継続)	18
		調査団派遣 (人)	12(新規)+0(継続)	161
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	機材供与 (100万円)	0	113	
	単独機材供与 (100万円)	0	50	
	開発調査 (件)	0	4	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0		

わが国の対キリバスODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 3.10 (62.9%)	技術協力 1.83 (37.1%)
---------------------------	-------------------------

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ベシオ港整備計画(詳細 設計)	情報通信運輸 省	(株)テトラ	96	0.46	97.2.20	96.8(本) 96.11(報)	
<p>キリバスの首都タラワのベシオ港は、貨物・旅客ともに輸送の拠点として重要な役割を担っているが、コンテナ船が直接接岸することができず、コンテナヤードも狭いことから、同港の整備計画について詳細設計を行う。</p>							

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
中等教育施設整備計画	文部省	(株)福永設計 (株)レーモンド 設計事務所	96	6.10	96.8.1		

人づくりを最優先課題としているキリバスのKGV/EBS校は、同国で最も歴史ある中等教育施設であるが、施設が手狭であり、また教育機材の絶対数も不足していることから、一般教育棟、特別教室棟などを建設するとともに、実験・実習など教育用機材を整備する。

マーシャル諸島

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国の ODA	無償資金協力 (億円)	0.67	74.03
	有償資金協力 (億円)	0	0
技術協力経費 (億円)		5.07	13.19
JICAの 技術協力実績	形態別		
	研修員受入 (人)	10(新規)+0(継続)	74
	専門家派遣 (人)	0(新規)+1(継続)	3
	調査団派遣 (人)	24(新規)+0(継続)	128
	協力隊派遣 (人)	7(新規)+14(継続)	32
	機材供与 (100万円)	4	27
	単独機材供与 (100万円)	0	0
開発調査 (件)	1	0	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

わが国の対マーシャル諸島ODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 9.58 (64.4%)	技術協力 5.29 (35.6%)
---------------------------	-------------------------

キリバス／マーシャル諸島◎大洋州

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
マジロ環礁道路整備計 画 (詳細設計)	資源開発省	㈱片平エンジ ニアリング・ インターナシ ョナル	96	0.54	97.2.20	96.8 (本) 96.11 (報)	
<p>マーシャル諸島の首都が所在するマジロ環礁の道路は、舗装の破損など道路状況の劣化が激しく、環境面にも影響を及ぼしており、緊急に整備する必要があることから、同整備計画の詳細設計を行う。</p>							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
第2次離島水産物流通改 善計画	資源開発省海 洋資源局	CRC海外協 力㈱	95	4.53	96.2.20		96.9 (実)
<p>マーシャル諸島第2の都市イバイを中心とした3環礁の漁業を振興し、イバイへの鮮魚供給の安定化、供給量の増大を図るため、販売施設、漁業支援施設を建設し、漁船、船外機、漁具などの機材を整備する。</p>							

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
マーシャル諸島海域海洋 資源調査	SOPACは、マンガン団塊をはじめとする鉱物資源が豊富に賦存すると考えられるSOPAC諸国の海域における調査をわが国に要請してきた。そのため、深海調査船「第2白嶺丸」を用いて、音響、サンプル採集および海底観察などを実施し、鉱物資源の賦存状況を把握する。1996年度は、マーシャル諸島北部海域に点在する9海山においてコバルトリッチクラストを対象として、音響探査、海底観察、サンプリングなどを実施した。その結果、調査したすべての海山において、縁辺部から斜面にかけて特にクラストが発達していることが確認され、本海域において普遍的にコバルトリッチクラスト鉱床が存在することが明らかとなった。鉱量、品位、海山形状などを考慮した総合評	南太平洋応用 地球科学委員 会 (SOPAC)	深海資源開発 ㈱

価の結果、MSO1およびMSO2海山が最も有望とされた。

ミクロネシア

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	12.68	107.63
	有償資金協力 (億円)	0	0
技術協力経費 (億円)		2.66	26.03
JICAの技術協力実績	形態別		
	研修員受入 (人)	21(新規) + 2(継続)	154
	専門家派遣 (人)	0(新規) + 0(継続)	49
	調査団派遣 (人)	11(新規) + 0(継続)	170
	協力隊派遣 (人)	13(新規) + 31(継続)	104
	機材供与 (100万円)	10	192
	単独機材供与 (100万円)	1.53	27.99
開発調査 (件)	0	0	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	1	

わが国の対ミクロネシアODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 4.71 (49.9%)	政府貸付等 4.72 (50.1%)
---------------------------	--------------------------

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
離島漁村連絡船建造計画	運輸通信省	(株)極洋 水産エンジニアリング(株)	96	12.58	97.2.12	96.8 (本) 96.10 (報)	

ミクロネシアの離島漁村では、海運がきわめて重要な役割を果たしているが、船舶の老朽化が著しく、住民の日常生活にも支障を来していることから、離島漁村間を結ぶ連絡船の建造を行う。

● その他の分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費 (千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
栄養改善実習用機材	一式	1,530	ボンベイ州保護資源監督局 農業課	WID関連特 別機材	協力隊派遣

ナウル

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	0	0	
	有償資金協力 (億円)	0	0	
技術協力経費 (億円)		0.15	0.51	
JICAの技術協力実績	形態別	研修員受入 (人)	10(新規)+0(継続)	36
		専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		機材供与 (100万円)	0	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0	
	開発調査 (件)	0	0	
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

わが国の対ナウルODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力
0.59
(100%)

パラオ

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	14.74	71.11	
	有償資金協力 (億円)	0	0	
技術協力経費 (億円)		1.18	4.83	
JICAの技術協力実績	形態別	研修員受入 (人)	11(新規)+1(継続)	58
		専門家派遣 (人)	2(新規)+0(継続)	6
		調査団派遣 (人)	35(新規)+0(継続)	110
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		機材供与 (100万円)	6	52
	単独機材供与 (100万円)	0	42	
	開発調査 (件)	0	0	
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

わが国の対パラオODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力	技術協力
2.58	1.77
(59.3%)	(40.7%)

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
北部漁村施設整備計画	資源開発省天然資源開発局	オーバーク ズアグロフィ ッシャリーズ コンサルタン ツ(株)	96	3.03	97.3.13	96.11 (本)	
<p>バベルダウブ島北部地域の漁村は、水産資源が豊富であるにもかかわらず開発が遅れている。そのため、小規模漁業の振興により、水産供給物の増加や地方産業の振興を目的として、岸壁施設、簡易護岸、待合所の整備、水路しゅんせつなどの建設および簡易荷役機材の供与を行う。</p>							

● エネルギー分野 ●

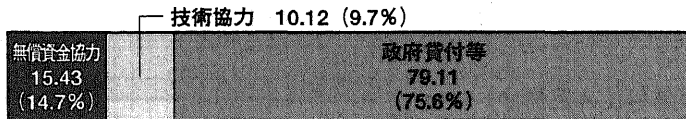
無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
電力供給改善計画	資源開発省	(株)パシフィック コンサルタ ンツインター ナショナル	96	11.71	97.1.9		
<p>パラオでは、経済的自立に向けた経済基盤の確立が最重要課題となっていることから、社会・経済の中心である首都コロールの逼迫している電力事情を改善するため、既設発電所の発電施設の整備を行う。</p>							
電力供給改善計画	パラオ電力公 社	八千代エンジ ニヤリング(株)				96.6 (本) 96.10 (報)	
<p>2000年までの電力需要増に対応するため、主要発電所の整備、バベルダウブ島北部4州の送電網を整備する。第1期工事として、マラカル発電所の建屋を建設し、ディーゼル発電機を設置する。</p>							

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	17.90	205.18
	有償資金協力 (億円)	0	568.35
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	10.21	124.21
	形態別		
	研修員受入 (人)	138(新規) + 7(継続)	1,394
	専門家派遣 (人)	13(新規) + 7(継続)	168
	調査団派遣 (人)	37(新規) + 0(継続)	679
	協力隊派遣 (人)	27(新規) + 36(継続)	279
	機材供与 (100万円)	80	1,000
	単独機材供与 (100万円)	0	282.26
	開発調査 (件)	1	10
	プロジェクト方式技術協力 (件)	1	2

わが国の対パプア・ニューギニアODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ポートモレスビー市下水道整備計画	パプア・ニューギニア政府の要請に基づき、首都ポートモレスビー市を対象地域として、環境・衛生および下水道運営事業の改善を目的とした下水道整備管理計画のマスタープラン (目標年次：2015年) を作成し、優先プロジェクトのフィージビリティ調査を実施する。1996年度は、実施調査の内容策定を目的として事前調査を実施し、実施細則に署名・交換した。また、その後、本格調査を開始し、第1次現地調査および第1次国内作業を実施して、調査結果について着手報告書、進捗報告書(I)および中間報告書を作成した。	国家計画庁 首都圏上下水道公社	(株)東京設計事務所 日本上下水道設計(株)

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易機材案件調査	実施促進・フォローアップ
東ニューブリテン州国営ラジオ放送局再建計画 (詳細設計)	国営放送協会	(株)NHKアイテック	96	0.46	97.2.20	96.6 (本) 96.10 (報)	

東ニューブリテン州国営ラジオ放送局は、1994年の火山噴火で壊滅的な被害を受けたため、地域向け

番組の制作ができず、緊急に整備する必要がある。そのため、同ラジオ放送局の再建計画の詳細設計を行う。

新ラバウル（トクア）空港緊急整備計画	運輸省	日本工営㈱	96	25.37	96.6.21		
--------------------	-----	-------	----	-------	---------	--	--

火山の噴火により閉鎖されたラバウル空港の代替空港として重要な役割を担っている新ラバウル（トクア）空港は、利便性・安全性の面から問題があり、早急に整備する必要がある。そのため、同空港の旅客ターミナルビルや管制塔の建設、滑走路の修復、航空保安無線・管制設備の整備を行う。

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年 度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート受入(人)	機材供与(千円)	
森林研究計画（Ⅱ） （当初R/D協力期間） 95.4.1～2000.3.31	93	事前調査	95年度までの 累 計		10	2	41,984
			96年度	計画打合せ	新規	4	3
	継続	4			2		

〈要請背景〉

バブア・ニューギニア政府は、1993年から森林研究所の活動計画を全面的に見直し、森林研究所における森林および林業の研究に関する今後の展開を取りまとめた。そのなかでわが国が協力した森林研究計画プロジェクトの活動が高く評価されたため、バブア・ニューギニアにおける持続的森林開発のための研究を目的として研究協力の継続を要請してきた。

〈目標と期待される成果〉

バブア・ニューギニアの持続的森林資源開発のための試験・研究を行うことにより、森林研究所の研究水準の向上を図る。

〈協力活動内容〉

- 持続的天然林経営のための基本技術と研究能力が向上する。：①天然林の樹種同定に関する研究を行う。 ②造林技術に関する研究を行う。 ③森林経営と土壌および水分状態に関する研究を行う。
- 持続的人工林経営のための効果的な技術と研究能力が向上する。：①適応樹種に関する研究、試験を行う。 ②林木育種に関する研究を行う。

バブア・ニューギニア◎大洋州

無償資金協力事業（JICA担当分）

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ガルフ州浅海漁業開発計画			89	1.93			97.1 (F/U)

(1) 本体：ガルフ州では、豊富な漁業資源を有しているながら漁業が未発達であるため、漁業設備の整備を行った。(2) フォローアップ協力：フォローアップ調査によりプロジェクトの現状を確認し、調査機材の今後の活用方針をバブア・ニューギニア政府と協議した。

開発協力事業

● 研修員受入			
研修コース名 (または研修科目名)	研修期間	人数	関連プロジェクト名
造林	96.9.17~96.10.31	2	ホスキンス試験的造林事業

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
パプア・ニューギニア工 科大学機材整備計画	パプア・ニュー ギニア工科 大学	ユニコインタ ーナショナル (株)	96	7.61	97.3.10	96.11 (本)	
<p>パプア・ニューギニア工科大学は、同国や太平洋地域での科学技術の開発・利用に貢献できる人材の育成と高水準の研究を行っているが、財政難からカリキュラムの実施に必要な機材の更新・新規調達が困難となっている。このため、土木学科、電気通信工学科などにおける実験・実習用機材の供与を行う。</p>							

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
第2次地方病院改修計画			91	15.57			96.9 (F/U)
			92	16.41			97.2 (F/U)
<p>(1) 本体：パプア・ニューギニアの地方医療の改善を目的として、7カ所（クンディアワ、ワバグ、ケレマ、ダル、マダング、パニモ、ラバウル）の病院の改修を行う。 (2) フォローアップ協力：フォローアップ調査の結果に基づき、設備補修を行い、従来の機能回復を図った。</p>							

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	10.80	150.30	
	有償資金協力 (億円)	0	0	
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	5.21	52.49	
	形態別	研修員受入 (人)	30(新規) + 4(継続)	279
		専門家派遣 (人)	10(新規) + 4(継続)	44
		調査団派遣 (人)	7(新規) + 0(継続)	181
		協力隊派遣 (人)	11(新規) + 35(継続)	290
		機材供与 (100万円)	52	596
	単独機材供与 (100万円)	31.05	225.18	
	開発調査 (件)	0	2	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0		

わが国の対サモアODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 10.90 (70.1%)	技術協力 4.66 (29.9%)
----------------------------	-------------------------

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
島嶼間輸送貨客船建造計画	サモア船舶公社	水産エンジニアリング(株)				97.3 (本)	
サモア、米領サモア間の海上輸送力増強のため、貨客船を建造する。							

● 人的資源分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費 (千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
電子工学職業訓練用機材	一式	31,055	サモア職業訓練学校	一般単独機材	専門家派遣

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国の ODA	無償資金協力 (億円)	19.16	116.36
	有償資金協力 (億円)	0	0
JICAの 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	4.03	53.39
	形態別		
	研修員受入 (人)	25(新規) + 1(継続)	291
	専門家派遣 (人)	2(新規) + 6(継続)	81
	調査団派遣 (人)	15(新規) + 5(継続)	297
	協力隊派遣 (人)	4(新規) + 37(継続)	191
	機材供与 (100万円)	47	499
	単独機材供与 (100万円)	0	84
開発調査 (件)	0	5	
プロジェクト方式技術協力 (件)	1	1	

わが国の対ソロモン諸島ODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力	14.63
技術協力	7.01
政府貸付等	-1.83

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ヘンダーソン国際空港整備計画	文化観光航空 省民間航空局	(株)パシフィック コンサルティング インター ナショナル	96	18.26	96.5.31		
<p>ソロモン諸島唯一の国際空港であるヘンダーソン国際空港の旅客ターミナルは、現在就航中の航空機に対応できず、旅客の取り扱いや空港運営上、安全面にも支障を来している。そこで、国際線旅客ターミナルビル、駐機場、誘導路などを建設する。</p>							
ホニアラ市給水改善計画	水道公社	(株)パシフィック コンサルティング インター ナショナル	96	6.80	96.8.6	96.2 (本) 96.5 (報)	
<p>ソロモン諸島の首都ホニアラ市では、給水状況がきわめて不安定で、上水道施設の拡張・整備が急務であることから、水源施設、導水施設、受水槽などを建設する。</p>							

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年 度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
プライマリー・ヘルスケア推進 (当初R/D協力期間) 91.9.1～96.8.31	88	予備調査	95年度までの 累 計	47	11	167,072
	90	事前調査				
	90	長期調査	96年度	新規	2	2
	91	実施協議				
	93	巡回指導				
	94	巡回指導				
96	終了時評価	継続	5	0	39,432	

〈要請背景〉

ソロモン諸島においては、感染症を中心とした各種疾患により、多くの国民の健康が損なわれている。

同国政府は、重要政策のひとつとして、またWHOなどの国際機関やオーストラリアなどからの二国間による援助を受けつつ、これに対する対策に取り組んでいる。しかし、技術、人材および資金が著しく不足していること、また、多数の島々からなる島嶼国であることなどから、保健医療水準が容易に向上し得ない状況にある。

このような背景から、同国政府は1989年、わが国に対して公衆衛生分野の開発を目的としたプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

〈目標と期待される成果〉

主として既存の諸保健医療活動を強化する方向で、プライマリー・ヘルスケアのアプローチによる
①ヘルスシステムの強化、②人的資源の強化、③健康教育を通じたコミュニティーレベルでの国民の健康増進を図る。

〈協力活動内容〉

プライマリー・ヘルスケアの考えに基づいた、マラリア、結核対策および地域に根ざした保健医療教育における人材養成を行う。